

# 平成18年度予算

## これが札幌市の取り組みだ!

### 特に力を入れる3つの施策

子育て

都市再生

市民自治

平成18年度の予算は、市税収入が伸びず保健福祉費などが増加する厳しい財政状況の中、事務事業の見直しや事業の重点化を進めた結果、前年度比0.5%減の1兆5,476億円となりました。

上田市長の任期最後の本格的な予算となる18年度の予算は、「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現を目指し、「新まちづくり計画」に掲げる事業のほぼすべてを達成することとなります。

今月の特集では、札幌の将来を見据えて決定した3つの施策「子育て」「都市再生」「市民自治」に沿って、主な事業を紹介していきます。

※記事中の予算額は100万円未満を四捨五入しています。また、数字、名称については予定、仮称のものです。

全国に比べて、少子化が著しく進んでいる札幌の現状を踏まえ、将来を担う子どもが、健やかに育つとともに、誰もが安心して子どもを生み育てることができるような環境づくりを進めます。

※合計特殊出生率（女性が一生の間に生む子どもの数に相当）～平成16年では全国1.29に対し札幌は1.01で、特に低い水準にあります



子育て

### 保育・子育て支援センターを開設

予算 2億9,800万円

定員120人の保育所に加え、子育て中の親子の交流の場である子育てサロンを月曜～土曜に開設します。また、保育士が育児についての相談を行うなど、子育てについてのさまざまな支援を行います。

4月に豊平・西・手稲区に開設。19年4月には東区にも設置されます。



4月に新設された豊平区保育・子育て支援センター

**一口メモ** このほか、地域には、子育て中の親子が交流できる場として、児童会館や地域の施設を利用した子育てサロンがあります。また、公立保育所において育児相談や保育所の開放（29頁参照）などを行っています。

詳細 保育課 ☎211-2986



親子で交流できる場がほしい

まじま じゅんこ  
間島 順子さん  
(34歳主婦・豊平区在住・  
1歳8カ月になる長男の  
子育てに奮闘中)

1日中、子どもの世話をしていると、ストレスを感じる時もあります。子どもをのびのび遊ばせたり、同じような子育てママたちとお話ししたりできる息抜きや、子育ての悩みなどを気軽に相談できる場所がもっとあればうれしいですね。